

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会に適用する競技規則は2012年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会の申し合わせによって実施する。

2. 競技者の受付、更衣、観覧席について

①学校受付の場所は大阪城ホール北玄関（JR環状線大阪城公園駅側、噴水西側の石段を上ったところ）とし、時間は次のとおりとする。

2月1日（金） 15時30分 ～ 17時00分（小学生は除く）

2月2日（土） 8時00分 ～ 15時00分

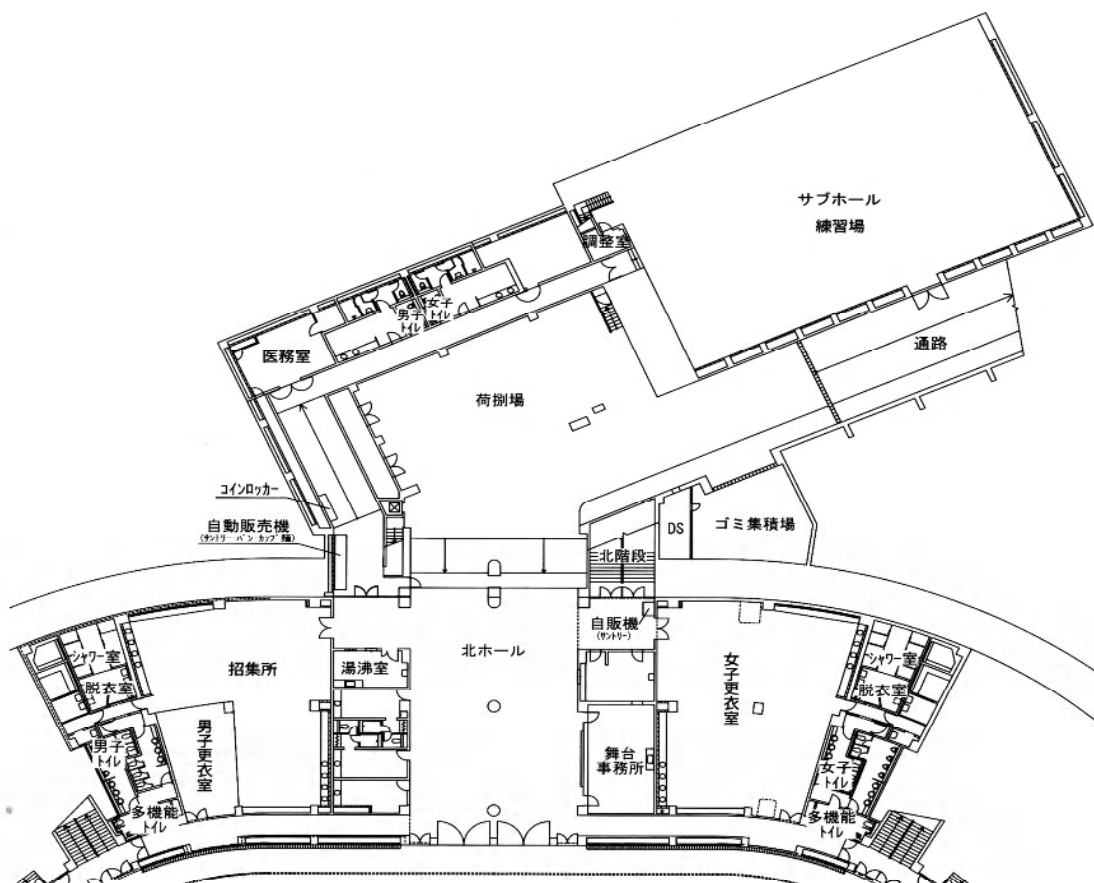
2月3日（日） 8時00分 ～ 12時00分

②リレーに出場する小学生（クラブ）は、受付時にオーダーを記入すること。

③競技者の更衣・控室について

競技者の更衣室として、地下1階北ホールに、「男子」「女子」に区別して2室設けている。

なお、更衣室では紛失・盗難等の防止に留意し、自分の荷物等を放置したりせず、十分、管理につとめること。



3. ナンバーカードについて

①競技者には、主催者が準備するナンバーカードを、胸部、背部につけること。

②招集時に配布する腰ナンバーカードは、左右の腰につけておくこと。フィニッシュ後に競技役員に返却すること。

4. 練習場について

- ①競技開始後のアリーナでの練習は原則として禁止する。
- ②競技開始後はサブホールで練習し、通路での練習は禁止する。
- ③アリーナ以外ではスパイクの使用はできない。(サブホールも含む)
- ④練習について

2月1日(金) 14時00分～17時00分 練習開放、トラック周回練習不可
14時00分～15時00分 直走路でのウォームアップ
15時00分～17時00分 直走路でスタート練習、ハードル練習
ハードル練習 1レーン (交流ジュニア・ジュニア男子)
※15:00～交流ジュニア 16:00～ジュニア男子
2レーン (中学男子) 3レーン (ジュニア女子)
4レーン (中学女子)
短距離練習 5～8レーン
走幅跳・三段跳 助走路での練習
棒高跳の練習 ジュニア女子 14時00分～15時00分
ジュニア男子 15時00分～16時00分
中学男子 16時00分～17時00分
走高跳の跳躍練習不可

2月2日(土) 8時00分～9時30分 練習開放、トラック周回練習不可
8時00分～8時30分 直走路でのウォームアップ
8時30分～9時30分 直走路でスタート練習、ハードル練習
ハードル練習 1レーン (交流ジュニア・ジュニア男子)
※補助員により、高さを調節する。
2レーン (中学男子) 3レーン (ジュニア女子)
4レーン (中学女子)
短距離練習 5～8レーン
走幅跳・三段跳 助走路での練習
棒高跳の練習 ジュニア女子 8時00分～8時45分
ジュニア男子 8時45分～9時30分
中学男子 10時00分～
走高跳の跳躍練習不可

2月3日(日) 8時00分～9時00分 練習開放
トラック周回練習 1・2レーン スピード
3・4レーン ジョッグ
直走路の練習 (スタプロ使用不可)
1～2レーン 中学女子ハードル
3～8レーン 短距離練習
ジュニア女子棒高跳 9時00分～ 練習可

5. 招集について

- ①招集場所は前ページに示した図のとおり、「男子更衣室」の北入口を入った所に設ける。
- ②招集時刻は次のとおり

種 目	招集開始時刻	招集終了時刻
リレー競技	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の15分前
その他のトラック競技	25分前	15分前
棒高跳	70分前	60分前
その他の跳躍競技	40分前	30分前

- ③競技者は招集開始時刻に招集所に行き、競技者係にナンバーカードを見せて確認を受けること。
トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを受け取り、左右の腰につけること。
- ④60m及び60mハードルは予選の組により招集時刻が違うので注意すること。
- ⑤招集終了とともに競技役員によってアリーナに誘導される。

6. 競技について

①交流ジュニア

- ・スタートは競技規則 162 条 6・7 により、1 回目から不正スタートした競技者は失格とする。
- ・スタートの合図は英語発声とする。「On your marks」～「Set」
- ・男子60mハードルはジュニアハードル（高さ 99.1 cm）で実施。

②日本ジュニア

- ・スタート方法は競技規則 162 条 7（指定競技会外）とする。
- ・各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- ・スターターの合図は英語発声とする。「On your marks」～「Set」

- ③トラック競技の60mと60mハードルは予選タイム上位8名で決勝を行う。他はすべてタイム決勝とする。

- ④小学生のリレーは第2コーナーを通過してからオープンとなる。（スターティングブロック・マーカー・ブルーゾーンの使用は不可）

小学生の不正出発については、現行のルールは適応せず一人2回までとする。

- ⑤スパイクのピンは7mm以下の先端の尖っていないものを使用すること。（小学生のリレーはスパイクの使用不可）

- ⑥ハードル競技の高さは次のように定める。

男子

ジュニア男子	60mH	(1m067)
交流男子	60mJH	(991mm)
中学男子	60mH	(914mm)

女子

ジュニア女子	60mH	(838mm)
交流女子	60mH	(838mm)
中学女子	60mH	(762mm)

⑦走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

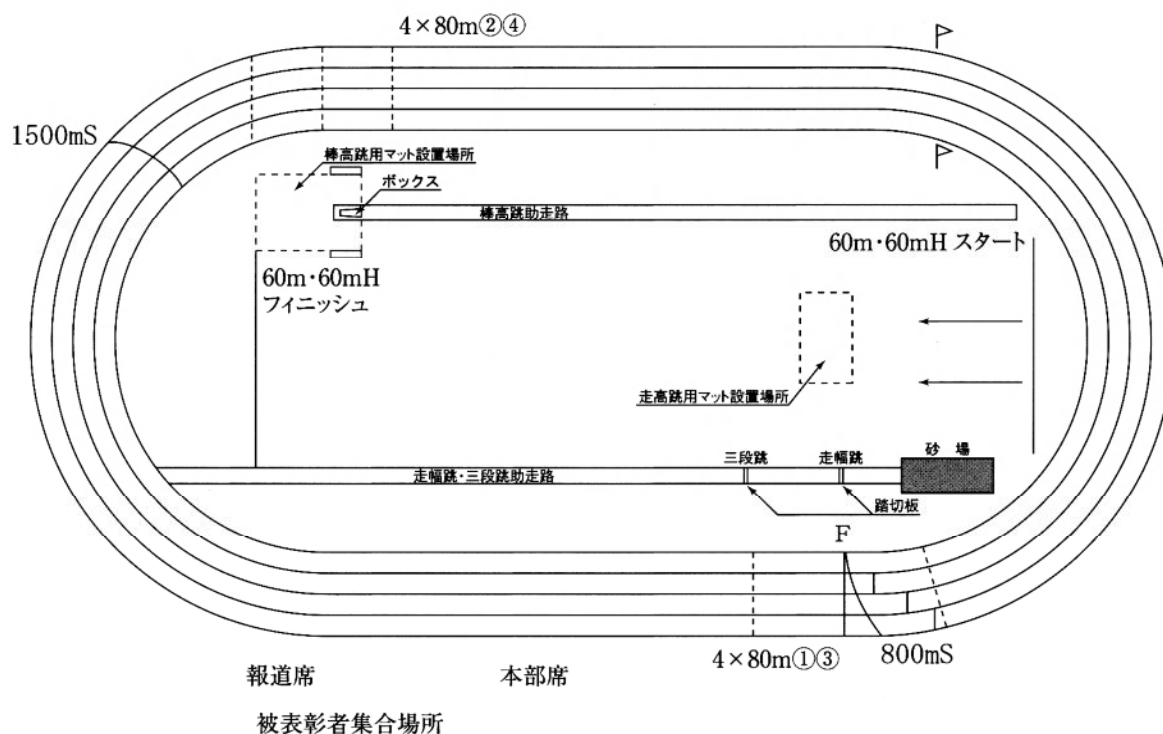
交流ジュニア、日本ジュニア室内

走高跳	ジュニア女子	(練) 1.62	1.65	1.68	1.71	1.74	以後 3 cm
	ジュニア男子	(練) 1.95	1.98	2.01	2.04	2.07	以後 3 cm
棒高跳	中学男子	(練) 3.90	4.00	4.10	4.20	以後 10 cm	
	ジュニア女子	(練) 3.10	3.20	3.30	3.40	以後 10 cm	
	ジュニア男子	(練) 4.50	4.60	4.70	4.80	以後 10 cm	

※ 1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳で 2 cm、棒高跳で 5 cm とする。

7. 競技場について

競技場のレイアウトは図のとおりである。



8. 競技用具について

競技用具は棒高跳用ポールを除きすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

9. 表彰について

日本ジュニア種目の決勝で 3 位までの入賞者は表彰があるので結果の発表があれば直ちに表彰席まで来ること。

10. 種目別参加人数・チーム数

男 子			女 子			
種別	種目	参加人数・チーム	種別	種目	参加人数・チーム	
中学生	60m	54	中学生	60m	53	
	800m	16		800m	19	
	60mH	25		60mH	37	
	棒高跳	15		走幅跳	27	
	走幅跳	16				
ジュニア	60m	55	ジュニア	60m	58	
	1500m	26		1500m	20	
	60mH	34		60mH	63	
	走高跳	27		走高跳	20	
	棒高跳	20		棒高跳	13	
	(棒高ホープン)	(3)		走幅跳	27	
	走幅跳	22				
	(走幅ホープン)	(4)				
三段跳	23					
交流 ジュニア	60m	6	交流 ジュニア	60m	6	
	60mJH	6		60mH	6	
	走幅跳	6		走幅跳	6	
ホープン競技 (小学生)	60m	33	ホープン競技 (小学生)	60m	43	
	4×80mR	22		4×80mR	22	

11. その他

①商標等の規則については下記「競技会における広告及び展示物に関する規程」を遵守すること。

- ・上半身の衣類（シャツ・レオタード）

製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積30cm²以内（トレーニングウェア・Tシャツ・トレーナー・ベンチコートは40cm²以内）、文字は縦4cm以内、ロゴ全体では縦5cm以内とする。製造会社の表示は1カ所のみとする。

- ・下半身の衣類（ショーツ・タイツ等）

製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積20cm²以内、文字は縦4cm以内のものを1カ所取り付けることができる。ソックスは縦2.5cm以内である。

- ・バッグ

製造会社のロゴはバッグに2カ所まで取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内である。

②横断幕・校旗等の掲示場所については、観客席中段より上とする。

③記録については、北ロビー壁画前（小学生）・北ホール（中学・ジュニア・交流）に掲示する。

④棒高跳ポールの返却について

後日、お知らせいたします。